

いわむら

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.169

岩室村の人口

(3月31日現在) 前月対比

男	4,293人	(+4)
女	4,772人	(-11)
計	9,065人	(-7)
世帯数	2,144世帯	(+6)

(住民基本台帳による)



実行目標「正しく伸びよ青少年」 関心と理解を 目標達成はみんなの協力で

村の将来をにらむ者は現 育は学校を中心に進められ
在の青少年であり、村の運 きたといえます。しかし
命はやがてこれらの青少年 家庭や地域社会が果してき
に托されるものでありまた 役割もまた大きなものが
す。従って青少年を心身と あります。
もにたくましく健かに育て 会構造の変化によって、青
あげることは村民すべての 少年を取り巻く教育環境は
願いであり、同時にそれは 著しく変わってきました。
私たちおとなの重大な責任 家庭については核家族化
でもあります。 が進み、子供の数もなくな
青少年の人間形成に対し り、生産の場としてよりも
ては、これまで学校教育に 消費が中心となる生活に移
大きな期待が掛けられ、教 消費が中心となる生活に移
います。

行し、更に近接町村への農 外就労の傾向が強くなり、従来
家庭の増加をきたし、従来 家庭がもっていた教育機能が
が著しく低下してきました。 学校について見ると在学
青少年の興味、関心、能力 などが多様化し、学校にお
ける活動だけではこれに対 応することが難しくなっ
てきています。 社会については都市化の



傾向が次第に人々の連帯意 識を弱め、それに伴って地
域社会のもつ教育機能が低 下し、一方、科学技術の進
歩や産業経済の高度成長に よって人間と自然との不調
和を生ずるようになりまし た。またテレビ、ラジオ、
雑誌等のマスコミによる情 報が氾濫し、青少年が直接
これに接触して様々な影響 を受けやすくなりました。
このような事情から青少 年を取り巻く教育環境の変
化による問題点に対処し 学校、家庭、地域社会が青
少年の人間形成に対し果す 役割について改めて理解を
深めると共に、その障害の 排除につとめながら、相互
に連携を密にして地域ぐる みで青少年の健全育成をは
かることが極めて大切であ ります。

- 一、施策のねらい
 - (1) 青少年の人間形成に對する地域の課題をふまえたが、長期的な観点に立ち青少年の健全育成の基本的なねらいとして、
 - (2) 人間形成の場としての家庭の健全化
 - (3) 教育の発展充実と諸施設の整備拡充
 - (4) 青少年育成に関する地域の推進組織の強化と青少年環境の浄化

この調査は、二年ごとに全国いっせいに実施されるもので、主に商店、飲食店、料亭等を経営されている方が調査対象となります。

- 二、本年度の重点施策の概要
 - 1 実行目標の趣旨徹底を図る。
 - (イ) 実行目標のチラシ配布
 - (ロ) 実行目標を題材としての中小学校児童生徒の書初大会 (優秀作品の展示)
 - (ハ) 公報による啓蒙
 - 2 人間形成の場としての家庭の健全化
 - (イ) 明確な家庭づくり運動の推進
 - ・ チラシによる啓蒙
 - ・ 「家庭の日」の実践強化
 - ・ 対話集会
 - (ロ) 保護者の研修の機会をつくる
 - ・ 公報による必要な情報の提供及び指導
 - ・ 家庭教育学級の開設
 - ・ P.T.A等の学習活動を拡充し講演会、研修会の開催奨励
 - 3 教育の発展充実と諸施設の整備拡充
 - (イ) 保育所における対策の強化
 - (ロ) 小、中学校における対策の強化推進をはかる
 - (ハ) 健全な余暇生活を促進し自主的活動の強化
 - ・ 子ども会の健全育成
 - ・ 各種スポーツ参加の奨励
 - (ニ) 趣味の会の育成
 - (ホ) 指導者の育成
 - ・ 青年県外研修
 - ・ 各種研修参加の奨励
 - (ヘ) 体育施設の計画的整備
 - (ニ) 校外生活の事故防止強化

の推進組織の強化と青少年環境の浄化

五月三十一日までの間に村から委嘱された調査員が直接お伺し、調査票の記入をお願いいたします。ご協力いただきます。

商業統計調査に ご協力を